

幼児は観念を理解する

ドーマン：赤ちゃんが眼鏡という観念を頭脳で理解するということが、お分かりになったでしょう。そうすれば、赤ちゃんにとって、読むということは、簡単であることもお分かりになるはずです。赤ちゃんは、日常、自発的に言葉を聞いています。言葉が理解できているのに、読めないはずがありません。頭脳にとって、同じ刺激なのです。

赤ちゃんが、眼鏡という文字を観念として理解するまでには、次の3つのことに気を付けなければなりません。

(1)イメージ・シンボルは、大きいものであること。(2)イメージ・シンボルは、はっきりしていること。(3)イメージ・シンボルは、何回もくり返されること。

しかし、私たちは、いままで、このことに失政してきました。本に書かれているような小さな文字は、赤ちゃんの未発達な器官では良く見えないのです。そのため、大昔から、子供にとって、文字は秘密のようなものでした。

コマーシャルを読む

けれども、現在では、テレビがあります。コマーシャルには、コカコーラ、コカコーラと何回も出てきます。子供は、今までの観念をすっかり変えてしまいました。町にできれば、「あれは、コカコーラだ」「あれは、ソニーだ」と読みます。アメリカの子供でさえ、日本語を読むことができます。

コマーシャルは、大きくはっきりと書いてあります。そして、何回も何回もくり返されます。子供は、どんなに複雑な字でもスラスラと読みます。どんなに音声が難しくても、簡単なものと同じように、理解できるのです。